

令和二年七月三十日 開会
令和二年七月魚津市議会臨時会提出議案

市長提案理由説明要旨

本日ここに、令和二年七月魚津市議会臨時会が開催されるにあたり、提案致しました案件について、その概要をご説明申し上げます。

五月十四日に緊急事態宣言が解除されてからは、市民生活は徐々に落ち着きを取り戻しており、七月二十二日からは国内観光需要喚起を目的とした「Go To Travelキャンペーン」も始まりました。しかしながら、感染拡大前の日常生活へすぐ戻ることは難しく、市内のイベント等の中止又は延期に加え、食事提供施設、宿泊施設等の市内事業所については依然、営業規模の縮小を余儀なくされています。

本市のこれまでのコロナウイルス感染症対策は、四月専決の第一弾が四十三億円、五月臨時会の第二弾が六千八百万円、六月定例会の第三弾が四億二千万円と承認及び議決をいただきましたが、これまでの主な対策の取組状況についてご報告申し上げます。

七月三十日現在において、特別定額給付金の申請件数は四万一千一百十四件で、申請率はおよそ九十九．一パーセントです。新型コロナ拡大防止協力金は、申請件数は二百二十九件で、申請率はおよそ五十一．五パーセントです。新型コロナ拡大防止協力金上乘せ分は、申請件数は二百九十八件で、申請率はおよそ六十六．一パーセントです。子育て世帯臨時特別給付金は、申請件数は二千七百三十一件で、申請率はおよそ九十四．二パーセントです。ひとり親家庭等応援給付金は、全対象者に給付が完了しております。応援チケット付商品券発行事業は、申込数が一万八千八百一冊で、申込率は九十四．〇パーセントです。今後は、さらなる周知に努め全ての対象者に着実に申請いただけるよう全力で取り組んでまいります。

続きまして、今般、七月臨時会に提案致しております第四弾となるコロナウイルス感染症対策の取組についてご説明致します。対策の柱は、「生活支援」、「感染症対策」、「経済対策」、「新しい生活様式」、「その他」の五つです。

「生活支援」としましては、市内小中学校の二学期の給食費の助成及び令和二年四月二十八日から令和二年十二月三十一日までに生まれた市内の乳児一人あ

たりに一律十万円を支給することで市民生活を支援致します。

「感染症対策」としましては、台風等の災害が発生した場合を想定し、災害備蓄品を整備することで、避難所内の感染症対策や室内環境の改善に努めます。

「経済対策」としましては、Go To Travelキャンペーンと連動し、市内宿泊施設の宿泊料金への助成や観光のためのタクシー利用への助成を実施することで、需要の落ち込みの大きい観光関連事業を支援します。また、国の実施するマイナポイント事業にあわせ、市独自のプレミアムポイントの付与を行い消費喚起を促すとともにマイナンバーカードの普及を促進します。

「新しい生活様式」としましては、市内事業所における、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策の取組や新しい事業展開、販路拡大などを支援し新しい生活様式の浸透に努めます。

「その他」としましては、市内の小学校に通う児童を対象に夏季休業中に民間プールの利用券を配布することで、夏休み期間中の児童の泳力向上や水に親しむ機会を確保します。

本市の新型コロナウイルス感染症対策は、第一弾から第四弾まで合わせて五十億円を超える予算規模となっています。今後も市民生活や民間の事業運営の状況を把握しながら、必要な対策について検討してまいります。市政全般にわたり、市民の皆様や議員各位のご支援とご指導、ご協力をお願い申し上げます。

それでは、今臨時会に提出致しました議案について、ご説明申し上げます。

議案第四十五号 令和二年度魚津市一般会計補正予算は、歳入歳出予算の総額に二億七千四百二十七万三千円を追加し、歳入歳出予算の総額を、それぞれ、二百十六億九千五百十六万八千円と致したいのであります。

今回補正する主なものは、小中学校給食費支援事業をはじめ、介護サービス事業所等支援事業や観光誘客促進事業といった市民生活への支援や経済対策などを狙いとする魚津市独自の取組みのほか、ひとり親世帯臨時特別給付金支給事業や小中学校保健特別対策事業といった国の補正予算に基づくものなど、新型コロナウイルス感染症対策として早急に対応すべきものに限定し、計上致しました。

これらの財源として、国庫支出金、県支出金及び諸収入を充当致しております。

以上、本日提出致しました議案の説明と致します。
何卒、慎重ご審議のうえ、議決をいただきますようお願い申し上げます。